

コード No. 28037

**Anti-Human
Raptor (R1) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : Raptor (regulatory associated protein of mTOR)は HEAT リピートと WD40 リピートをもつ約 150 kDa のタンパク質で、mTOR 結合タンパク質として同定されました。生物種を超えて保存され各種細胞を通じて広範に発現しており、mLST8 とともにタンパク質合成や細胞成長を制御する mTORC1 (mTOR complex 1) の構成因子のひとつでもあります。また、mTOR の基質である p70 S6 キナーゼや 4E-BP1 (eukaryotic translation initiation factor 4E binding protein 1) と TOS (TOR signaling) モチーフを介して結合し、mTOR による基質のリン酸化反応に重要な足場タンパク質としての役割を果たしています。

免疫抗原 : Human Raptor の N 端部分合成ペプチド (MESEMLQSPLLGLGEEDEA)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1% BSA、0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
: 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : ウェスタンブロッティング 1~3 µg/mL にて使用可能
: 免疫沈降法 0.25~3 µg/mL にて使用可能

参考文献 : 1. Oshiro N, Takahashi R, Yoshino K, Tanimura K, Nakashima A, Eguchi S, Miyamoto T, Hara K, Takehana K, Avruch J, Kikkawa U, Yonezawa K. The proline-rich Akt substrate of 40 kDa (PRAS40) is a physiological substrate of mammalian target of rapamycin complex 1. J Biol Chem. 2007 Jul 13;282(28):20329-39.